

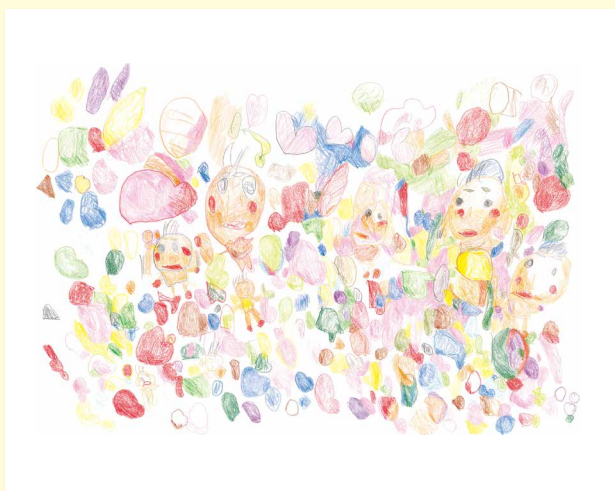
脳出血で約半年にわたる長いリハを経てご自宅に退院されました。現在は短時間通所リハに通っておられます。

自宅に帰ってからは不自由な左手の練習のために、もともと好きだった手工芸にいろいろ挑戦され、数々の作品をつくられています。中でもちぎり絵は、数年にわたり継続している作品の一つです。特に四季の風景を表現したちぎり絵は、一切れ一切れの破片にミヨシさんの思いと力がこもっています。折り紙を使用することはもちろん、風景に合わせた広告紙を探し色を合わせ、ちぎり方一つにも違いがあり、さまざまな工夫がされ、本当に景色が浮かんでくるような素敵な作品に仕上がっています。お孫さんはミヨシさんの作品を楽しみにしており、作品づくりがミヨシさんのご自宅での役割ともなっています。(担当 OT: 鈴木美紀)



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



岩科晴子「かわいいおはなみ」

お花見の絵をかきました。さくらの花、人、とり、ハート、おにぎり、アイス、あめ玉、りんご、チョコ、プリンをかきました。楽しかったです。次は、バラをかきたいです。

(岩科晴子)

岩科さんは、みんなでお花見に行ったときの様子を絵に描いたそうです。絵を描くことが好きで、普段からいろいろな色を使って、にぎやかな絵をたくさん描いています。作品を紹介していただけて、とても喜んでいます。

(担当 OT: 鈴木佑果)